

with
SBS

※SBSは、正文舎（SyouBunSyaの略です）

[What's NEW!]

名簿制作・
印刷サービス

正文舎の新しい
パック商品のご案内



正文舎のアレやコレ。

「株式会社 正文舎」 **A** to **Z**
KAMISHOZAI～紙商材プロジェクト、始動。

TOPICS ————— 新元号「令和」

New&Goods ————— 雪玉を投げ続ける

Focus on JAPANESE ———— させていただく症候群



株式会社 正文舎のすべての情報は、WEBサイトでご確認ください。
バックナンバーもこちらから。



Photo:Adobe Stock

「株式会社 正文舎」 **A** to **Z**

KAMISHOZAI

Text_Honma Kazumi

紙商材プロジェクト、始動。

とある新聞の見出しに「印刷用紙、不足」というのがありました。いま印刷用紙は全国的に品薄になっています。2018年に相次いだ災害によって製紙工場の生産量が減ったことや、原油価格の高騰などが影響しています。

価格も上がってます。貴重な紙ですが、正文舎では昨年「紙商材プロジェクト」チームを結成して、社内にある廃材の紙を使った新しい商品企画を進めてきました。廃材の紙はリサイクル業者に古紙として売ってお金に換えることも出来ます。しかし、何かひと手間を加えて新しい価値を生み出せると考えています。



Photo:Adobe Stock

これまでには、廃材の紙を加工して「色紙セット」として保育園へお譲りしたり、「極厚メモ帳」を作って販売するなどしてきました。繁忙期が明けた4月上旬、新年度が始まって第1回目の紙商材ミーティングをしました。「今年は何をやりたいか」「どうやって売っていくか」についてチームで意見を出し合いました。

社員手帳と方眼ノート

ひとつ決まっているのは「社員手帳」を作ることです。マンスリーカレンダーと方眼ノートだけのシンプルなものです。まずは社内で使ってみて、ゆくゆくはこれを足掛かりにオーダーメイドの手帳を商品化するという構想もあります。

数年前「頭がいい人はなぜ、方眼ノートを使うのか?」という本がベストセラーになり、文房具界が方眼ノートブームになった時期がありました。私もこの本を読んで方眼ノートを使ってみました。（あまり使いこなせませんでした…。）方眼好きな人は一定層いるように思います。ピンクやグリーンなど文房具店では「ありそうで売っていない」色があったら面白いと思い、数枚のサンプルを作ってみました。A4やB5のノートサイズや、ポケットに入る小さなサイズも作れそうです。こうして書いていると自分用に欲しくなってきます。

不揃いの紙

先日、美術系大学出身でかつ紙に詳しい知人に紙商材プロジェクトの話をしました。廃材のメモ帳を売っていることや、白い紙以外に

も色紙や厚紙など様々な種類があるのでまとめて不揃いの紙セットとして売る企画も考えている、などあれこれ話してみました。

知人からは面白い答えが返ってきました。「色上質やレザック紙、厚い紙、マット系、コート系、いろいろ混ぜて1枚ずつ全部違う紙でメモ帳を作ってみたら？ SNSではGIFアニメが流行っているから数秒の動画でばらばらめくって見せたら面白いかもね。」へえ〜! そういう発想もあるのか。美大系の人ならではの目線です。会社の中にいると気付かない様々な物の見方があるのだと思いました。

またtwitterのハッシュタグで「#おもしろ文具」「#紙モノ」などで検索すると色々出てくるよ、との耳より情報も。これは思わぬ需要が隠れているかもしれない、とワクワクしました。

SNSでの情報発信

以前、メモ帳のPOPを作って弊社事務所のカウンターに置きました（本誌2月号Vol.008のTOPICS参照）。これは来社されたお客さまには見ていただけますが、外にいる人々には知られることはありません。知らなければ存在しないのと同じことです。というわけで、紙商材の情報を外へ向けてSNSで発信することも今年の目標に加えました。

楽しみながらモノ作りをして、その制作風景も含めて情報発信をしていく。SNSでの交流の中から「それ欲しい!!」の反応があるといいな、と思っています。

TOPICS

	気	初	
	淑	春	
	く	の	
	風	令	
	和	月	
	ら	に	
	ぎ	し	
		て	

令和。先日の5月1日をもって元号が「平成」から変わった。私は書類等で日付が必要な場合は、基本的には「元号」の方を使う。仕事の検印の日付も、年賀状のそれも「元号」である。

元号の変更が「新年」でもなければ「新年度」からでもなく、5月1日からという、いかにも「中途半端」な時に「令和」に切り替わったものだから、各種書類に「大正」「昭和」「平成」「令和」そして西暦があつてなんだか「面倒くさい」ことになっているし、もしかしたら、今年の4月2日から30日に生まれた子は、同級生に「やーい、平成生まれ」とか「旧時代人」とか揶揄されるかもしれない。

そんなこともあって「いまの時代、元号なんて必要なのか?」とか「元号を廃して、西暦に統一しよう」と極端なことを言い出す人もいる。今、壁に掛けてある弊社のカレンダーを見ると、昨年まではあった元号が消えている。担当者はそれこそ「面倒」と考えたのかも知れない。しかし、私はそれには与さない。

時代の区分としての元号はやっぱりあった方がいい。そういう区切りがあると、制度文物やライフスタイルやモノの考え方が変わると個人的には信じている。

慶應義塾大学の名の由来については、「創立の年号を取て仮に慶應義塾と名く」という文献が残っているし、明治大学のそれも、単純に「明治時代創立」だからということではないが、前身の「明治法律学校」の名が「徳の高い明治天皇の時代を生きる喜びをたたえて」つけられたということであるから、元号が基になっていると言っても言い過ぎではないだろう。

それに4月1日に政府が発表した後の、号外を奪い取るように群がったり、「令和」と刻印した商品をいち早くネット通販にアップしたりという“異常な”までの盛り上がり、「昭和チック」に言えば「フィーバー」ぶりを見ていると、むしろ「西暦統一派」は少ないのではないかと考えてくる。

新元号

Text_Narita Sadayuki

そもそも元号を持たない国もそれに代わるものを持っている。イギリス人は王が交代するごとに時代を区切る。「ヴィクトリア朝的（Victorian）」といったら旧弊で、上品ぶって、偽善的で、抑圧的という時代の風儀を意味するし、エドワード七世はわずか10年の治世だったけれど、「エドワード朝的（Edwardian）」という形容詞を残し、そこには「物質的豊かさ、絢爛豪華、官能的」といったコノテーションがしっかり貼り付いている。フランスも元号はないが、こちらは政権の交代と建築やインテリアの違いをセットにする習慣がある。「ルイ16世様式」「総裁政府様式」「帝政様式」「第二帝政様式」とやけに細かく区分する。むろん、政体の変遷と建築や家具の様式の流行の間には何の関係もないが、なぜかフランス人は政体が変わるごとに美的感受性をリセットすることを好んでいる。



Photo : Adobe Stock

兎にも角にも5月1日より「令和」という新しい時代が始まった。そして奇しくも5月1日は弊社の85回目の「創業記念日」でもある。新しモノ好きの私としては、令和とともに「明るい未来」が待っていると期待せずにはいられない。

「会員名簿」「同窓会名簿」など、各種 名簿の制作・印刷・管理を承ります。



Photo : Adobe Stock

正文舎の名簿制作サービスは、 こんな方に人気です。

- ✓ 個人情報扱うので、セキュリティのしっかりした会社に頼みたい。
- ✓ 集めた情報を、スムーズに整理してほしい。
- ✓ 制作・印刷から発送までワンストップでお願いしたい。
- ✓ 毎年の名簿更新が大変。更新作業もお願いしたい。
- ✓ インターネット上で限定公開したいが、相談相手が見つからない。

正文舎にお任せください。

- ✓ ISO規格である、情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) を取得・更新していますので、セキュリティもご安心いただけます。
- ✓ 名簿制作のノウハウを蓄積しておりますので、スムーズに制作を進められます。
- ✓ 制作・印刷から発送まで、ワンストップで可能です。
- ✓ 面倒な名簿データの更新作業も承ります。一度ご相談ください。
- ✓ ホームページ、サーバやシステム開発も可能です。



担当は私、赤羽です。

「会社案内を見た」とお電話ください。

011-811-7151 携帯：080-1889-6711

t.akaba@syoubunsysa.co.jp



Illustration : Hashimoto Izumi

雪玉を投げ続ける

正文舎の売り上げのために、廃材を使って商品を作るプロジェクトをやりたいんです。

あるスタッフからこんな言葉を聞いたとき、「雪玉を転がしていてよかったな」と私は思いました。

ゆきだまとは？

催眠療法家のミルトン・エリクソンが、こんなことを言っています。

山の頂上から雪玉を転がしなさい。

やがて雪崩を起こすかもしれない。

正確ではないのですが、何かを変えたかったら小さなことでもよいので、刺激を与え続けるとやがてそれが大きな雪玉となり、どこかで雪崩を起こすまでになるという意味です。これは治療の方向性を示すひとつなのですが、組織の体質改善をするときにも有効な手段なのだなって思いました。

会社は時代にあわせて変わっていく必要があります。そのために、私はいろいろなことを提案していました。

- SNSをみんなで使おう。
- 会議の仕方を変えてみよう
- 管理職の役割は何か定義しよう

ひとつひとつの考え方は正しいのです。が、ひとりでもがんばるのは違います。

経営者がいくら変われと言っても、会社の中は変わらない。「変えなきゃ、変えなきゃ」と焦っていたときに、ある方がこう言いました。「雪玉を転がしていればいい。その中のひとつが大きくなって、雪崩を起こすかもしれない」

そんなのん気なことなのかしら？

「好きなことしようよ」

これは私が個人的に変わるきっかけになった言葉です。すごくいいと思っているので、こんな質問をよく口にするようにしました。

- 一番したい仕事は何ですか？
- 一番伸ばしたいスキルは何ですか？

言葉は非常に重要で、自分の言った言葉は一番先に自分が聞きます。私の中で何かが変わったのでしょうか。それは必ず伝播する。スタッフの雰囲気がちよつと変わってきたかまなとすることがありました。そんなときに、いつも控えめに話すスタッフから、「紙商材プロジェクトをやってみたい。自分がリーダーになりたい」って話を聞きました。一緒に取り組む仲間をみつけて、初めて商品の企画から販売までやってみようとしています。

こういう取り組みを、支えていきたいなと私は思っているのです。



正文舎の正面玄関にある沙羅の木
夏には白い花が咲きます。

学会事務局の皆さまの作業負担を軽減

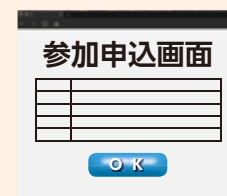
学会WEB&印刷まるごとPACK

実績多数の正文舎なら、学会の申し込みや論文原稿を、WEB経由で取りまとめ。要旨集の制作・印刷もスムーズに行えます。

参加申込



申込受付画面から

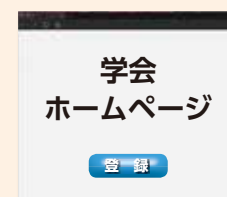


必要事項が入力されると

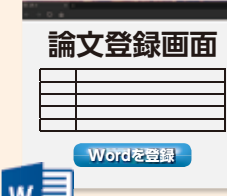


申込データが
Excelファイルとして
保存されます。

論文登録



論文登録画面から



Wordデータで
登録されると



Wordファイルと
登録情報が
Excelファイルとして
保存されます。

要旨集



Wordファイルと
Excelファイルを
原稿として
要旨集の制作・印刷を
いたします。

その他（オプション）

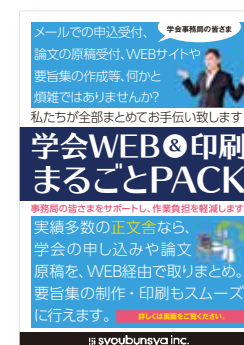
- ☒ 参加料インターネット決済
(ペーパーレス：クレジットカード・コンビニ)
- ☒ ネームホルダー
- ☒ ポスター
- ☒ プログラム集



学会の会費・名簿管理
システムもご相談ください。

Voice

From Director



【開発者からひと言】

「学会の専門業者に依頼するほどの予算はない」「しかし、抄録集やWebサイトは作成したいし、事務局の負担も減らしたい」「抄録をメールで集めると、とりまとめ作業が煩雑で、本業がおろそかになる」———こうしたお悩みにお応えするのが、正文舎の“学会パック”です。

参加者が数十人～800人程度の学会で特に重宝されております。

Webサイトから参加者登録や論文登録を行っていただき、抄録集（要旨集、プログラム集）作成・印刷までをシームレスに行えるのが、正文舎の強みと自負しております。

その他、ポスター・参加証・手提げ袋の制作や、学会名簿作成、学会費のオンライン決済などもご提案いたします。

まめ

にほんごの知識
Text_ Kurita Miyuki

05

③ させていただく症候群

最近は、結婚報告を自身のブログでする芸能人の方が多いですね。

「本日、私〇〇は、一般男性の方と入籍させていただきました。」

こんな報告を受けると、お幸せに、と思う傍ら、ちょっと違和感がありませんか？ 両親への報告ならともかく、一体誰に「入籍させていただいた」のでしょうか。

「何事も神仏のご加護のおかげ」という気持ち、「おかげさま」の精神から、このような表現になるのでしょうか。けれども「させていただく」と「おかげさまで」の違いについて、日本語・フランス語教師である野口恵子氏は自身の著書^{※1}の中で、「『させていただく』が自分に恩恵を与えた相手を特定して、その人を持ち上げることで結果的に自分が低くなるという謙遜の表現であるのに対し、「おかげさまで」は恩恵をこうむった相手を限定しない。目の前の相手を含むすべての存在の恩恵に浴していることに感謝していることになる。」と述べています。

※1 野口恵子「バカ丁寧化する日本語」光文社新書

※2 文化庁「敬語の指針」第3章第2 6 「『させていただく』の使い方」では「自分側が行うことを、ア）相手側又は第三者の許可を受けて行い、イ）そのことで恩恵を受けるという事実や気持ちのある場合に用いられる。」とある。

「本日、私〇〇は、おかげさまで一般男性の方と入籍いたしました。」

神仏のおかげであると考えているのならば、こちらの表現の方がしっくりきますね。

頻繁に語尾に「させていただく」をつけることに違和感を覚えるのは、許可を与えたわけでもない不特定多数の人達に向けてこの言葉を乱発することも理由の一つではないでしょうか。これをくっつけておけばとりあえず丁寧でへりくだっている感じがして“無礼だと言われずに済む”という安易な気持ちがちょっと透けて見えてしまいます。野口氏は前述の著書の中で、「『させていただく』を二度三度続けて使いそうになったら、三度目を口にする前に、別の表現にできないか考えてみるのはどうだろう。」と提案しています。自分の恵まれた境遇を自分の力だけの結果ではないと考えることはとても良いことだと思いますが、本来の「させていただく」の意味^{※2}から離れた使い方には気をつけたいところです。

校正の現場から。

先日私の誕生日に、娘が「久保田」の一升瓶（！）をぶら下げてお祝いに来てくれました。ラッピングには赤いリボンと“HAPPY BIRTHDAY”と書かれたシールが。とても嬉しかったので、近所の和雑貨のお店でお銚子と蛇の目のお猪口を買ってきてしまいました。ところで「お銚子と徳利って何が違うのか？」とふと疑問に思い、調べてみたら同じ意味でした。ただ、お銚子は本来注ぎ口と柄のついた全く別の形状のものだったのが、次第に徳利と同じ意味で使われるようになったのだそうです。“言葉は変化する”ということは、何年かしたら「させていただく」の連発も気にならなくなるのかな…



Webコンサルティングサービス



Illustration : Adobe Stock

WEBSITE
DATA
ANALYSISインターネットで
ビジネスの成果を上げたい方へ

正文舎では、Webコンサルティングサービスをご用意しています。
お客さまと、Webマーケティングのゴールを共有し、そのゴールに向けて施策を実施。
効果測定を行い、PDCAを回していきます。

Webコンサルティングサービスでは、
下記を行います。

アクセス解析

Webサイト等の
改善ご提案

打ち合わせ

仮説立案

改善施策の
実施

効果測定

月に1回、3カ月に1回など、頻度はご希望に応じます。
費用はホームページの数や規模などにより異なりますので、一度ご相談ください。

《 会社概要 》

社 名：株式会社 正文舎

代 表 者：代表取締役 岸 昌洋

創 業：昭和 9年 5月 1日

設 立：昭和27年 5月15日

資 本 金：1,400万円

所 在 地：[本 社]
〒003-0802
北海道札幌市白石区菊水2条1丁目4番27号
TEL.011-811-7151
FAX.011-813-2581

[東京オフィス]
〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7
オリエント赤坂モートサイド805
TEL.03-5413-4016
FAX.03-5413-4017

取扱い品目

印刷事業

【商業印刷物】

[情 報 系] パンフレット・リーフレット・カタログ・チラシ、会社案内、ポスター、カレンダー、PR誌、取扱説明書（マニュアル）

[物流資材系] 各種封筒、包装紙、シール・ラベル

【出版印刷】

[書 籍] 名鑑、各種名簿、記念誌、単行本

[雑 誌] 週刊誌、月刊誌、専門誌

[新 聞] 各種業界新聞、学校新聞

[学 参 系] 教科書、辞典、問題集、生徒会誌

[自 費 出 版] 同人誌、自分誌、詩集、エッセイ、写真集

【業務用印刷】

伝票・帳票各種、オンデマンド／バリアブル、小ロット印刷、賞状（学位記・証書等）印刷、可変宛名印字、ダイレクトメール

情報メディア事業（WEBサクセス） <https://www.websuccess.jp/>

各種WEBサイトの企画・制作・運営管理、各種データベースの企画・構築・運営管理、クロスメディア展開の企画・構築・運営管理

賞状net事業

賞状・表彰状等のインターネット通販サイトの運営



メディア・ユニバーサル・デザイン協会認定のメディア・ユニバーサルデザイン・アドバイザーの資格を持った制作者が多く在籍しています。



紙には古紙80%再生紙のOKマットコートエコグリーンを使用しています。



グリーンプリンティングの認定を受けています。



P-00023

全日本印刷工業組合連合会によるCSR認定制度の基準を達成しています。



IS 618840/ISO 27001

ISO/IEC 27001:2013 JIS Q 27001:2014 情報セキュリティマネジメントシステムの認証取得をしています。



ぶらねっと
©syoubunsysa.inc

★ぶらねっとくんは、正文舎の業務や取組を紹介するときどこからともなく現れるオリジナルキャラクターです。

製造から創造へ

株式会社 正文舎

札幌本社 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目4-27
TEL.011-811-7151 / FAX.011-813-2581

東京OFFICE 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7 オリエント赤坂モートサイド805
TEL.03-5413-4016 / FAX.03-5413-4017

<https://www.syoubunsysa.co.jp>

Publisher ■ Kishi Masahiro
Creative & Art Director ■ Narita Sadayuki
Chief Editor ■ Ebina Mikiko
A to Z Writer & Editor ■ Honma Kazumi
TOPICS Writer & Editor ■ Narita Sadayuki
New & Goods Writer ■ Shirafuji Saori
Focus on JAPANESE Writer ■ Kurita Miyuki
Editor ■ Tokunaga Moe
Editor & Digital Printing ■ Watanabe Mototsugu

※本誌はデジタル印刷機 Ricoh Pro C7200sで、表紙にクリアトナーを使用し、オンデマンド印刷・製本をしています。